



(公社) 兵庫県建築士会 姫路支部

# 支部だより

1月号



姫路支部会員のお仕事拝見

(株) 東影建築設計事務所 東影 弘喜

私が建築設計の道に進むきっかけとなったのは、中学校の技術家庭科での折りたたみ椅子作りでした。地元の工務店、設計事務所勤務を経て2001年に実家の三畳一間で「東影建築設計事務所」を創業しました。2011年にはじめて所員を採用し、2015年に「(株) 東影建築設計事務所」を設立、2016年に姫路市辻井に新社屋を建設しました。現在は7名の社員さんと共に、民間から公共建築まで幅広く仕事をさせていただいております。

建築に携わって30年以上になりますが、創業当初は、一人で全ての業務をこなしておりましたが、規模の大きい設計や件数が増えたこともあり、チームで業務を行う組織事務所としての思いが強くなりました。今では大規模建築物を受注できるようになり、社員さんにはいつも感謝しております。



家内と一緒に・・・



実家の三畳一間にて開業。

おふくろ手書きの事務所サイン



2016年竣工 本社は社屋

第34回NICHIIHA SIDING AWARD入賞

第13回くすのき建築文化賞入賞



スタッフとの社内ミーティング

売上高としては民間と公共と半々くらいです。民間では、個人住宅、集合住宅、商業施設、福祉施設、工場など多岐に渡っております。また公共では、学校、下水処理場等の公共施設、公民館をはじめ、国交省、防衛省、兵庫県、近郊の市町村での官庁物件をさせて頂いております。

同社はBIMという先進の建築設計技術を活用しクライアントにとって最良の建築をすることをお約束し、幸せを呼ぶ空間をクライアントと共に創造実現し、地域社会に貢献することを目指しています。また、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現に貢献し、住宅・建築物における太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入にも取り組んでいます。

以下、当社の施工実例と現在手掛けている仕事を紹介させていただきます。

## ●特別養護老人ホームKJ園（2016年竣工 第12回くすのき建築文化賞入賞）



新築の特別養護老人ホーム（手前）  
とリノベのデイサービス（奥）を渡  
り廊下で接続

リノベしたデイサービスと地域交流ホール  
左奥に見えるのが新築の特別養護老人ホーム

事業主様であるクライアントが、大阪市旧所有の保養所  
〔塩楽荘〕RC造4階建て（1975年築）と、敷地面積約  
35,000坪を購入、「この沈黙の施設を蘇生利用したい」と  
いう強い想いにより、耐震改修とコンバージョン（デイ  
サービスと地域交流ホールへの改修）を行い、西側に特別  
養護老人ホームRC造2階建てを新築し、この2棟を渡り  
廊下で結んで、別敷地から増床移転運営するものです。名  
湯塩田温泉郷の山の中腹に位置、眼下に田園風景を一望出  
来る豊かな自然に恵まれた環境で、各個室を建物外周に配  
置して様々な四季の変化を楽しめ、共同生活室は全てのユ  
ニットが中庭に面し十分な採光と通風を確保しています。  
特にトイレ、機械浴室は、介護スタッフの方々と議論を繰  
り返し実物大モックアップ作製、議論し、創り上げていま  
す。（2016年 建築ジャーナル掲載）



新築の特別養護老人ホーム



デイサービスの食堂

## ●T機械金属広畑工場（2020年竣工）



アルミ・インゴットからダイカスト casting・加  
工を行う精密部品工場である。安定した品質の  
製品を生み出す為に、振動に十分留意し、スラ  
ブ厚 t 300・D13@200クロスダブル配筋とした  
上、浜手地盤の液状化を考慮しPHC杭+HF杭  
を採用、システム建築と在来工法を比較検討し  
てコスト面で合理化を図り、SDGsの一環とし  
て太陽光発電を搭載するなど、ハードとソフト  
両面でのパーフェクトな建物の供給を目指しま  
した。（2023年くすのき掲載）

## ● 駅南M賃貸マンション（2021年竣工 ニチハ ナビュールvol.468掲載）



変形の限られた敷地を最大限に活かしつつ、意匠にも配慮しています。

## ● H横手集会所—老人会憩の家—（2020年竣工）



エントランスとウッドデッキを一体化し大きな庇を設け、利便性と解放感を持たせています。



可動間仕切りで多人数の集会やイベントにも対応可能としています。

## ● 家族葬のA会館 名古屋山ホール（2024年竣工予定）

古来より亡くなった人を弔うことは人にとって大切な時となってきました。時代が変化し、葬儀の簡素化が進む中でも、心のこもった葬儀をして故人を偲び、見送りたいという想いは変わりません。そのような想いにお応えできる上品かつ格調高い葬儀場を目指しつつ、ニーズの多様化に柔軟に対応できるフレキシブルな内部空間としています。

コロナ対策として異なる葬儀参加者が重ならない動線計画、フィジカルディスタンスの取りやすいホール・ロビー計画、十分な換気量を確保した空調換気計画等配慮しています。



## 最後に・・・

私の趣味はゴルフと旅行ですが、一つの目標として、憧れのオールドベントウ280SEクーペを70歳までに購入して、クラシックカーのイベント、コッパディ姫路に家内と参加することです。（了）



## 12月の活動報告

- 12.8(金) 建築模型作り講座(ものづくり体験館)
- 12.14(木) 構造学習会(オンライン)
- 12.16(土) 下村酒造プロジェクト発表会 & 姫路支部忘年会
- 12.28(木) 建築相談(姫路市役所)

## 1月の活動予定

- 1.13(土) 第4回理事会
- 1.19(金) 建築模型作り講座(ものづくり体験館)
- 1.25(木) 建築相談(姫路市役所)  
構造学習会(オンライン)
- 1.29(月) 建築模型作り講座(ものづくり体験館)

## 構造学習会2023 第8回開催報告

12月14日(木)開催

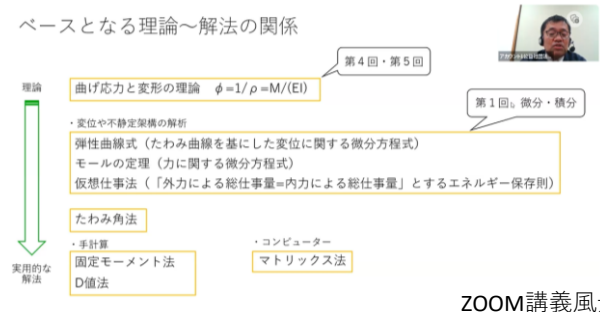
2023年度の構造学習会(全10回)の第8回目を12月14日(木)ZOOMオンラインで行いました。

第8回目は、「弾性域における架構解析の方法と実践」～固定モーメント法とD値法で架構解析をしてみよう!～というテーマで兵庫確認検査機構の景山先生に講義いただきました。

実務ではパソコンによるマトリックス法が主流になっているが、鉛直荷重による応力を求める固定モーメント法や水平荷重による応力を求めるD値法を理解し、手計算を行うことにより力の流れやどのくらいの応力が発生しているのか知ることができるとのこと。講義では単純な門型ラーメンを例に分かりやすく解説していただきました。

受講生は40名でした。欠席者には、録画をクラウド上で視聴できるようにしています。

報告者:石原



ZOOM講義風景

## 下村酒造プロジェクト発表会&忘年会開催報告

12月16日(土)開催

12月16日、姫路建設会館にて「下村酒造店改修プロジェクト」の中間報告&パネルディスカッションが行われました。ご多忙の時期にもかかわらず、下村様をはじめ22名の方にご参加頂きました。

前半は4つのグループ(インテリア・作業効率・まちづくり・構造)に分かれ、現地調査・検討を重ねた成果を発表して頂きました。



(インテリア班7名)の発表は、まず店の顔とも言えるファサード部分、既存店舗や西側住居部分を、既存の良いところを生かしつつ改装し有効活用を図るというものです。店舗部分にはコミュニティスペースやカフェスペース等を設け集客を図り、西側住居部分をカフェやシェアリングキッチンなど、貸しスペースとする事で更なる収益が見込めます。また、地域に開けた店舗とすることで、地域活性化の起爆剤になることを期待できそうです。

(作業効率班3名)の発表は、現在いろんな所に散らばっている貯蔵庫を一ヶ所にまとめ、既存の酒蔵と調和のとれる冷蔵倉庫の建替を提案しました。そうすることで作業の効率化を図り、電気代の節約も期待できます。また、将来東側隣地が取得できれば、倉庫の近くに瓶詰め作業場を設けるなど作業効率を良くすることができます。休憩室と台所も一棟にまとめ、利便性を高めることができそうです。

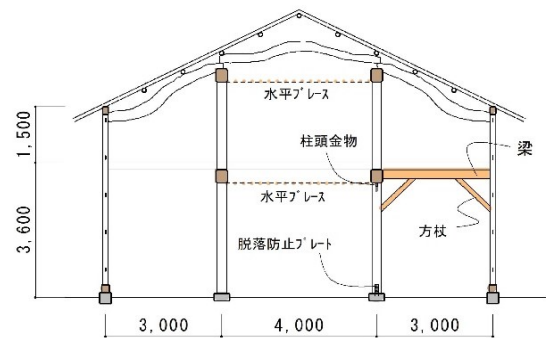


(まちづくり班7名)の発表は、因幡街道に面し、都市景観重要建築物等として指定されていることも踏まえ、西側住居部分の有効活用を提案しました。既存レンガ塀を補強し、北側にはモスガーデン、南側には薬局だった経緯を生かし薬草や食べられる植物等、エディブルガーデンを設け、客室側から望めるようにする。母屋と切り離すことで貸店舗とし、更なる収益が見込めそうです。



(構造班9名)の発表は、酒蔵は明治17年に建てられ、2度の増築がされていること。中柱と外周土壁でもたせている特殊な架構であること。虫害や蟻害、脚元の腐朽、中柱の傾きが限界値にきていることを踏まえ、震度7の地震には耐えることができないのではないかと思います。増築部の仕口や継手の補強、ブレース・方杖の追加、東側に傾いている中柱の経過観察等、耐震補強や劣化部の対策が必要と思われます。

具体的な補強案として・・・



後半のパネルディスカッションでは、下村酒造店社長、会長、そして各班の代表者で発表内容の補足等、有意義な意見交換をすることができました。各チームの提案に、下村様も驚かれたようです。また、新たな発見や課題が見つかりました。歴史的な街の中にあることを生かし、このプロジェクトが町おこしの発信地になればと思います。

報告者：池内

（公社）兵庫県建築士会 姫路支部主催の令和5年度 建築家講演会に有機的で独創的なデザインとサステイナブルな建築を追及されている建築家「芦澤竜一」さんをお招きします。

芦澤先生は滋賀県立大学で生態学、植物社会学、音楽など他分野と連携しながら、建築の可能性を拡張していく研究もされており、これからの建築の可能性、設計へのアプローチなどもお話しいただけるのではないかと思います。

本講演会には、建築士会会員以外の建築士の方、一般の方、学生の方も無料でご参加いただけます。

1. 日時 令和6年2月18日（日） 14時30分開演（14時受付）
2. 場所 兵庫県立ものづくり体験（姫路市市之郷1001番地1）
3. 参加費 無 料



【CPD 2単位】

